

# 平成26年度佐賀環境フォーラム実績報告

## 1 実施体制

佐賀大学、学生スタッフ、市民スタッフ、佐賀市で構成する実行委員会形式

## 2 受講等

(1) 受講要件 高校生以上

(2) 受講料 (年間：※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 1口 5,000円 ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 1講義につき 500円
- ◇ スポット受講者(学生) : 1講義につき 200円

(3) 参加者数 ※[参考：昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 18名 [18名]
- ◇ 佐大生 : 44名 [32名]
- ◇ 法人 : 2社 [5社]
- ◇ スポット : 24名 [21名]

## 3 事業概要

### (1) 講義

期間 : 平成26年5月13日(火)から平成26年7月10日(木)まで(全12回)

時間 : 午後6時30分から午後8時30分まで(※質疑応答含む)

会場 : 佐賀大学教養教育2号館 211番教室

講義内容	所属等	講師名	参加者数		
			一般	学生	合計
環境問題総論・佐賀環境フォーラムについて	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	児玉 宏樹 氏	22	33	55
「青き清浄の地」としての里山 ー 生物多様性からナウシカへの思索 ー	佐賀大学 文化教育学部 環境基礎講座 准教授	中村 聡 氏	17	22	39
「近代社会を超えて環境の世紀へ」	佐賀大学 経済学部 法政策講座 教授	畑山 敏夫 氏	19	19	38
気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第5次評価報告書について	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	児玉 宏樹 氏	16	20	36
5アンペアで豊かに暮らす 新聞記者の挑戦	朝日新聞 名古屋報道センター記者	斎藤 健一郎 氏	26	24	50
佐賀で育まれた海洋温度差発電の現状と展望 ー 海洋温度差発電に学ぶ環境問題 ー	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 副センター長	池上 康之 氏	21	21	42
コンピュータシミュレーションと環境問題	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	水藤 寛 氏	19	23	42
海の貧酸素化とは? ー有明海を中心にー	佐賀大学 低平地沿岸海域研究センター准教授	速水 祐一 氏	21	22	43
身近なのに嫌われものですか「産廃」は・・・	ゼロ・ジャパン株式会社 代表取締役社長	乙顔 均 氏	25	21	46
持続可能な社会とエネルギー ー 技術と経済の視点から考える ー	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 客員教授	浅野 浩志 氏	20	20	40
中米・エルサルバドル共和国での 青年海外協力隊活動を通して	日本水工設計株式会社 九州支社	木崎 稔 氏	14	13	27
地域のまちづくりと環境	NPO法人 地域環境計画研究所ネットワーク 代表	佐藤 伸道 氏	18	20	38

## (2) 体験講座

### 1) 環境学習会

【日時】平成26年6月7日(土)

【目的】自然や環境について理解することで、自然環境を守り、育むという環境保全意識を増進することを目的としている。

【内容】佐賀県有明水産振興センター、東与賀干潟での体験学習

### 2) ごみ探検隊

【日時】平成26年6月14日(土)

【目的】佐賀大学本庄キャンパス構内のごみの分別について調査することで、3Rや循環型社会の基礎を学び、ごみの減量化に努める環境マインドを養うことを目的としている。

【内容】本庄キャンパス内に設置されているごみ箱の中身を調査・分別した。今年度は佐賀資源開発の久米講師が大学内のごみ分別に関する説明をし、参加者の指導を行った。

参加者数 ( ) 内は昨年度の参加者数

内 容	一般	学生	スタッフ	計
環境学習会	5 ( 6 )	5 ( 4 )	5 ( 5 )	15 ( 15 )
ごみ探検隊	2 ( 3 )	17 ( 20 )	9 ( 10 )	28 ( 33 )
計	7 ( 9 )	22 ( 24 )	14 ( 15 )	43 ( 48 )

## (3) 現地見学会

【日時】平成26年8月7日(木)

【内容】環境に関連する施設の現地見学。以下の2コースのうち1つを選択。

午前) 佐賀市清掃工場 (佐賀市高木瀬町)

午後) 吉野ヶ里メガソーラー (佐賀県神埼市)

参加者数 ( ) 内は昨年度の参加者数

	一般	学生	スタッフ	計
参加者数	2 ( 8 )	11 ( 21 )	4 ( 6 )	17 ( 35 )

## (4) ワークショップ (WS)

### 1) グループWS

①水環境班 (10名) ②環境教育班 (12名) ③チャリツーリズム班 (14名)

【スケジュール】

中間報告会 11月16日 研究の途中経過の報告

研究成果発表会 1月25日 研究成果の発表

### ア 主な研究内容と研究成果

#### ①水環境班

【内容】佐賀市域の水環境のあり方について研究することを目的として、佐賀市内の河川などの水質等を調査する。

【成果】天祐寺川の水環境調査を行った。

天祐寺川の水路改修(昨年度末工事)後の現場状況調査、内視鏡カメラを使った水中調査を実施して、生息する水生生物と河川状況(流速等)との関連調査を行った。

## ②環境教育班

【内容】 幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、幼稚園・保育園等で紙芝居やごみ分別ゲーム等を実施する。

【成果】 今年度は新作の環境紙芝居『ちきゅうのおはなし』を制作し、幼稚園・保育園で発表するなど、地球温暖化をテーマに子どもたちが楽しめることに取り組んだ。

また「すずむしのおんがくかい」を開催し、身近な環境について子どもたちへの啓発活動に取り組んだ。

## ③チャリツーリズム班

【内容】 佐賀地域の自然や歴史・文化遺産を活用した観光（エコツーリズム）の確立と自転車利用の促進を目的として、佐賀地域の自然や歴史・文化遺産の調査や、イベントでレンタサイクル事業を実施する。

【成果】 長崎街道沿いの歴史・文化財などの市内の観光地の調査や学内放置自転車を活用した「再生自転車」を使用しバルーン大会でレンタサイクル事業を実施した。

今後は、2月21日から開催の佐賀城下ひなまつりでのさらなる活動につなげるとしている。

## 2) インターンシップ型WS

【派遣の法人】

- ① 温暖化防止ネット（2名） ② さが環境推進センター（3名） ③ 三気の会（2名）

【スケジュール】

研究成果発表会 1月25日 研究成果の発表

### ア 主な研究内容と研究成果

#### ①温暖化防止ネット

【内容】 身近な地球温暖化防止活動の普及、エコドライブの推奨、エコチャレンジ運動など、地球温暖化を抑制する活動を市民レベルで実践し、啓発に取り組んでいる。

【成果】 自分たちにできるエコ活動について改めて考え、一人ひとりが環境に配慮した生活を心がけることが大事だということを学んだ。

参加したイベントの中で、子どもの環境に対する意識は家庭によって差があり、もっと子どもたちに環境教育の機会が必要だと感じた。

#### ②さが環境推進センター

【内容】 持続可能な社会を実現するために、地域社会の人々に対して環境問題についての啓発を進め、資源の有効利用・廃棄物の発生の抑制・再生資源の利用を促進する循環型社会形成のための事業を行い、環境の維持・保全につながる環境改善活動の推進に寄与することを目的とする。

【成果】 NPO 法人の活動に参加することは希少な体験で、地域に根ざしているものの普段の生活では係ることの少ない団体の活動を肌で感じることで良かった。

#### ③元気・勇気・活気「三気の会」

【内容】 自然環境が維持、保全される社会を実現するため、人と環境に優しい無農薬・無化学肥料で安全、安心の農作物作りを目指す有機農業の普及を図っている。

【成果】 「収穫祭」や「ごみくい」に参加して、地域の方との交流を深めることが出来た。大変な作業だったが、伝統的な農法「ごみくい」を初めて体験して、もっと沢山の人がこの活動を広めたいと思った。

## (5) イベント（平成「打ち水」夏の陣2014）

### ○平成打ち水夏の陣2014

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらおうきっかけとした。

日時：平成26年8月2日（土）15:00～16:30

場所：佐賀城本丸歴史館

※台風接近のため本年度は中止とした。

### ○2014さが環境フェスティバル

ワークショップの活動を来場者に紹介、発表する機会としてフェスティバルに参加出展した。

日時：平成26年10月25日（土）、26日（日）10:00～16:00

場所：佐賀県立森林公園（野球場前広場）

## (6) 終講式

【日時】 平成27年1月25日（日）15:20～15:30

【修了者数】

①一般 13名（18名中）②法人 2社（2社中）